

市民クラブ通信

発行 市民クラブ / 発行責任者 嵐 芳隆 千葉県八千代市勝田台北 1-24-28-101



嵐 芳隆 会派代表 都市常任委員会 | 印旛利根川水防事務組合議会議員

私の5期目のお約束として訴えてまいりました勝田台南口エレベーターの設置、高齢者の外出支援のためのタクシー券の拡充、八千代医療センターの医療体制の充実、などこの2年間で実現してまいりました。これもひとえに市民クラブの仲間と我々を支えていただいている支援者の皆様のおかげです。しかしまだ実現できていない東葉高速鉄道の通学定期の値下げについては今後も強く訴えていかなければなりません。市政は政党政治ではありません。市民クラブは市民の皆様のための政策を実現していく会派です。まだまだ実現しなければならない政策目白押しです。会派市民クラブへのご支援宜しくお願いします。



澤田 新一 八千代市議会副議長 | 福祉常任委員会

市議会議員として2期・7年目を迎え、本年第1回臨時会において、八千代市議会第45代副議長にご推挙をいただきました。もとより浅学非才の身であり、微力ではございますが、議長をお支えし、円滑な議会運営と、更なる市政発展・議会の活性化のために、全力を尽くしてまいる所存でございます。更なる市政発展の為には、「魅力的で賑わいのある街」にしなければならず、その為にも「街の整備」・「まちづくり」を推進してまいります。これからも市民の皆様へ寄り添い、様々な声に耳を傾けることに注力し、本市発展のため、課題解決に取り組んで参ります。



花島 美記 都市常任委員会副委員長 | 議会運営委員会

昨年は八千代市議会第44代副議長を務め、議会を俯瞰で捉えることができました。市外、県内外の公務では市議会の代表としての責任と女性議員としての使命を持って臨みました。その経験を通して感じたことは、政策立案や意思決定過程において女性の参画がまだまだ進んでいないことです。市役所内でも女性管理職の割合が13.9%、10年前は24%で県内でもトップクラスでした。私も働く女性の一人として共に課題解決し、支援し、本市の女性活躍の推進に取り組んで参ります。

行政視察レポート

● 愛知県豊田市 豊田地域医療センター



八千代市の中核病院である東京女子医大八千代医療センターの運営において、市が抱える課題に向けての検討を図るべく、他市で八千代市同様に大学病院が携わっている病院の運営、経営の状況について学びたいと思い、今回は愛知県豊田市にある豊田地域医療センターを訪問させて頂いた。同医療センターでは、高齢化の進展による地域包括ケアシステムや、地域共生社会の構築、地域医療構想による医療機能分化と連携に伴う地域医療のあり方も大きく変化してきていることから、地域密着の病院経営が求められ、受け皿となる地域包括ケア病症や在宅医療の充実を図っている。1つとして、在宅医療を担う人材の育成に注力しているのが豊田地域医療センター病院像「コミュニティ・ホスピタル」である。2015年に藤田総診(藤田医科大学総合診療プログラム)をスタートして、様々なことに挑戦し、成功と失敗を経験しながら少しずつ質を上げて総合診療の可能性を広げてきている。2022年に施設をリニューアルして、ハード面はもちろんのこと地域との交流・連携として、コミュニティドクター&ナースという事業では、社協とも連携したまちかど保健室などが好評だそうで、地域から信頼され親しまれる、開かれた病院としての位置付けができてきている。また、地域医療DXの推進による地域リハ、イノベーション&スマートリハビリも取り入れたスマート・コミュニティ・ホスピタル事業もこれから大きく期待がもてると考えられる。今後の取り組みとして、2023年度以降は各事業の効果測定を予定している。また、敷地内にあるコミュニティ・プラザには電動シニアカーなどの展示、試乗が出来るスペースがあるが、宣伝がいき渡っていないせいか利用者が少ないので利用者数増加を目指していくとのことであった。



林 隆文 議会運営委員会委員長 | 総務常任委員会 | 四市複合事務組合議会副議長

この度、議会運営委員会の委員長に就任致しました。議会のスムーズな運営に鋭意努力してまいります。改めて市議会議員の役割とは何なのかを自問自答しながら議会活動を行っています。議会は予算の執行権はありませんが、税金の使い道をしっかりと精査し、市民にとって有効活用されるよう、執行部に対し提言していきます。八千代市がもっともっと魅力のある、住んで良かったと思える市になるよう、今後も八千代市民の様々な要望に応えるべく活動してまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い致します。



小澤 宏司 文教経済常任委員会委員長

1月の臨時会にて文教経済常任委員会の委員長を拝命いたしました。主に小中義務教育学校や農業・商工業を所管する委員会です。今までご教授、ご相談いただいた方の想いを「カタチ」にするべく邁進して参ります。皆様のアイデアやお困り事をお待ちしております。12月議会において八千代市の強みや弱み、取り巻く環境について質問し、それに応える形で市長の出馬表明がありました。ご覧くださいませ。



成田 忠志 予算委員会委員長 | 福祉常任委員会

5期目の後半は、福祉常任委員会に所属することになりました。私は福祉行政に力を入れるべく、地元で福祉委員の一人として、又、老人会の一員として高齢者の方々と日々接してきました。特に一人住まいの方や、夫婦のみで生活される方には、各地域の包括支援センター、社会福祉協議会、市福祉部の各担当課との連絡を密にすることをお伝えさせてきました。また、介護職員や幼稚園・保育園の職員の待遇改善を求めて、市当局のみならず県や国への働きを県議や国会議員へ申し入れを継続しております。3月議会は予算特別委員会委員長として、5月の市長選挙前の骨格予算の審議をまとめさせて頂きました。



崎村 知生 広報委員会委員長 | 文教経済常任委員会

日頃より市民の皆様には大変お世話になっております。任期も半分を終え、12月議会で八千代医療センターの救急医療に対する補助金の質問を致しました。年間7千万を超える補助金に対して夜間の小児初期救急業務に約3千万、夜間の初期及び二次救急業務に約3千5百万、休日昼間の二次救急業務に約5百万であることがわかりました。全国的にみても医療従事者不足は拒めませんが確実な救急医療体制の整備、医師の働き方改革を踏まえた上で補助金が使われるよう要望致しました。

● 愛知県東海市 ひきこもり対策支援事業

八千代市において、登校拒否児童生徒数の増加が近々の問題になっている。登校拒否が将来的にひきこもりにつながっていくことも推測されていることから、ひきこもり対策支援事業について率先して取り組んでいる愛知県の東海市を今回の視察先と決めた。ひきこもりの原因は多種多様であるが、東海市ではひきこもりに関する業務、及び、社会福祉協議会においても支援体制を構築するため、市に『ひきこもり支援検討委員会』、社協に『ひきこもり相談窓口』を設置し、委員会がまとめた報告書をもとに『東海市ひきこもり施策基本指針』の策定をしている。相談できる場所、及び、自宅以外の場所を提供する支援体制のもと、平成21年4月に東海市社会福祉協議会への補助事業として『ほっとプラザ』を開設した。令和2年度には施策基本指針を、ひきこもりの長期化、高年齢化、8050問題などにも対応出来るよう改定するなどしている。また、学習支援・生活支援を含めた居場所支援の提供をし、その他にも家族支援や内職、ボランティア活動を通じた就労準備支援をしていくことで、より事業効果がみられたという。NPO法人など外部団体の協力のもと、ボランティアとしてナス農家に働きに行っていた方がそちらの農園に就職することが決まったなど具体的事例もあがってきている。八千代市においても、居場所作りが必要であると課題として聞く。高齢者の居場所なのか、不登校児童生徒の居場所なのか、目的別に考えてしまう傾向にあるが、東海市ではそのような区別はなく、順調にいっている。社協なのか教育委員会なのか、担当部署ではなく、互いの連携が重要であり、この関係を強固のものにしながら進めていけると、八千代市も大きなひきこもりという枠の問題も解決できるのではないだろうか。

行政視察
Report

